

# 分会情報

J R 東海労大阪第一車両所分会  
No.6 2 8      2 0 0 9 . 4 . 2 8  
発行責任者      小林 國博  
編集責任者      教 宣 部

## 安全が損なわれる効率化反対！！

会社は平成21年度の要員計画として大一車両所の台車交換方式変更（8両台交実施）に伴い△5（平成21年10月実施）を提案してきています。

このことは走り装置の要である最重要検査を外注化するということでもあります。断じて許せるものではありません。

会社の提案（4月9日：本社提案）以降、私たちは現場管理者に説明を問うてきましたが「まったく知らされていなかった」とか「外注で大丈夫なのか」といった返答でした。また4月22日行われた地本=支社間の業務委員会においても、実施期間が10月と迫っているにも関わらず支社は「詳細は現場で明らかにする」といったまったく誠意のない回答であります。その後現場でも△5について具体的な内容はまったく説明されていない状況です。

このように社員をまったく無視した状況のなかで外注化を強行して新幹線の安全は担保できるのでしょうか！

## 台車交換方式変更を理由とした△5は断じて許せない！

さらに、今回の台車交換方式変更に伴う△5の意味するものは！私たちの職場が段階的に減少されゆくゆくはすべて外注化され私たちの働く場がなくなるということです。会社の狙いは明らかです。会社は中央バイパス構想によって毎年1兆5千億の経常利益を上げなければなりません。しかし長期債務返済や設備投資に多額の金がかかることから、会社は組織改正を打ち出し効率化と称した外注化にすることによってコストダウンを図ろうとしているのです。大一両所でも合同庁舎の新設、さらにはN700系導入に伴い台車交換方式の設備投資を行ってきました。そういったことから、コストを下げる為には人件費削減しかないと考えているのは明らかです。裏を返せばそこまで追い詰められているということです。

だからといって私たちの働く場がなくなっていく訳がありません。労働者にとって働く場を失うと言うことは生活の糧を失うと言うことです。断じて許すわけにはいきません。

車両所で働く皆さん、今こそ私たちの働く場を守るために声を上げようではありませんか！

私たち東海労は、今回の「新幹線車両所の組織改正」に伴う効率化と称した△5に対して断固反対の意思を明らかにします！！